

日本初!! 身体障害者向け 自動車免許取得サポート専門誌「DRIVE」発行!!

～警察庁協力のもと制作、4月中旬から全国警察の運転適性相談窓口で配置開始～
【(一社)日本福祉車輛協会】

一般社団法人日本福祉車輛協会（東日本本部：東京都港区芝公園、理事長：新宮勝則）は、警察庁・交通局運転免許課高齢運転者等支援室協力のもと、日本初となる身体障がい者向け自動車運転免許取得サポート専門誌「DRIVE（ドライブ）」を発行し、2017年4月中旬より、各都道府県警察の運転適性相談窓口において配置を開始するほか、全国の指定自動車教習所においても活用することとしている。

■身体障害者の社会参加に、自動車運転免許取得は必要不可欠

日本の身体障害者(肢体不自由)のうち、自動車運転免許を保有している方は約17万人(出典:警察庁 平成27年度運転免許統計)、就労者は約13万人(出典:内閣府 平成25年度版障害者白書)。身体障害者の社会参加において、自動車の運転免許取得は必要不可欠です。しかし、身体障害者の運転免許取得に必要な情報の中には、専門的かつ周知されていない情報も多々あり、情報収集は免許取得者にとって大きな負担でした。

■「DRIVE」一冊で身体障害者のスムーズな免許取得を可能に

本誌では、国内で販売されている代表的な運転補助装置(身体障害者が自動車運転する際用いる装置)が掲載されている他、各装置の機能比較、身体障害者の免許取得プロセスや助成制度の紹介など、身体障害者の免許取得に必要な情報が一覧できるため、身体に障害をお持ちの方の、よりスムーズな免許取得を可能にします。

■障害者差別解消法対応の先駆けに～多様性のある社会目指し～

2017年4月には、障害者差別解消法の施行から丸1年を迎えます。警察庁から発行された、全国の指定自動車教習所に対する障害者対応の環境整備に努める通達が適用されるなど(出典:警察庁 丙運発第44号 2017年3月12日適用)、具体的な対応が始まりつつあります。我々日本福祉車輛協会は、本誌の発行・配布を通じて身体障害者の免許取得をサポートし、民間企業における合理的配慮の先駆けになると共に、障害者の社会参加を促し、多様性が尊重された社会の実現を目指します。

■本リリースについて

身体に障害を持つ方にとって、自らクルマを運転する事は、人の力を借りずに自分の意思で自由に移動できる大切な手段です。一人でも多くの身体に障害を持つ方が、クルマの運転を通じて人生を豊かなものにして頂きたいと思い、本誌を発行・リリースいたしました。



▲「DRIVE」表紙/A4サイズ 全12ページ

▼このリリースについてお問い合わせ先

名称……………一般社団法人 日本福祉車輛協会 東日本本部

所在地……………〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-22 B101 (機械振興会館別館)

担当者……………平岡 幸雄

TEL / 03-3434-2940 FAX / 03-3434-2960 MAIL / info@jwva.net URL / http://jwva.net/association-overview

*本リリースに関して、警察庁への取材・連絡はご遠慮ください。何卒宜しくお願い申し上げます。